






# 排気弁部メンテナンス手順

協和工業株式会社

この消火栓には簡易空気弁「排気弁」が付いていますので、通水時ごく稀にゴミ噛みによる水漏れをおこすことがあります。排気弁付消火栓の排気弁部から水漏れが発生した場合は以下の手順にて作業を行ってください。

必要工具 プライヤー、ウエス

<p>1. 補修弁を閉めます。</p> <p>2. 無圧状態で安全に作業する為、開栓キャップを開き、消火栓内の残圧を抜きます。</p>		
<p>3. プライヤーで排気弁部8角キャップを外します。</p>		
<p>4. プライヤーで中央ネジ部分をつまみ、引き抜いてください。</p>		
<p>5. フロートが写真のように頭を出しますので手で抜いてください。フロートが出ないときは補修弁を少しだけ開き、パイプ部分から水を出すとフロートが浮いてきます。</p> <p><b>注)補修弁を大きく開けますとフロートが飛び出し大変危険です。ご注意ください。</b></p>		
<p>6. 弁座押え中心の円錐ゴム部分にゴミ、水アカ等が付いていたら、きれいに取り除いてください。また円錐ゴム中心の穴がつまっていないか、穴の周りに傷がないか確認して下さい。</p>		

7. フロート部先端の円錐ゴムとの当たり部分のゴミを取り除き、傷がついていないか確認してください。  
注)作業中に円錐ゴムとの当たり部分に傷をつけないように気をつけてください。



8. 補修弁を少しだけ開け、パイプ部分から水を出し、パイプ内部の清掃を行ってください。



9. フロート、弁座押えの順番に取り付けて下さい。弁座押えは斜めにならないように確実に押し込んでください。

注)フロートは上下逆に入れますと止水しませんのでお気をつけ下さい。



10. 8角キャップを取り付け、プライヤーで軽く締め付けてください。  
(手で開けられない程度)  
注)締め過ぎの無いように注意ください。締め過ぎますと破損の原因となります。



11. 補修弁を開け、漏水がないかチェックして作業終了です。

※ 注意事項

消火栓設置後、水圧試験をされる場合、排気弁から空気が抜け、一時的に水圧が上がらない場合があります。その場合はお手数ですが、水圧試験時のみ排気弁内部部品を取り外し排気弁キャップを、お手持ちの25mmサドル分水栓のキャップに取替えてください。

